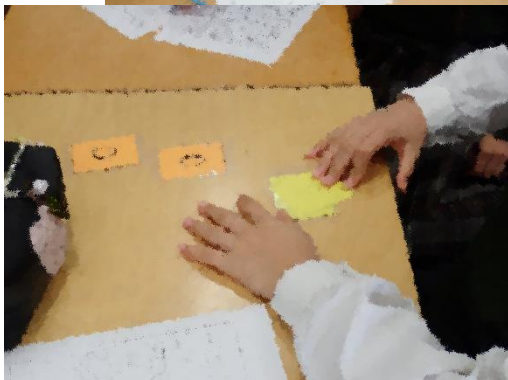


遺伝の規則性を確かめる

中学 2 年生の生物地学の授業では、現在「遺伝の規則性と遺伝子」についての範囲を学習しています。まずは 1 種類の遺伝子について、減数分裂をしたら遺伝子はどう分かれるのか？子供の遺伝子型はどうなるのか？表現型はどうなるのか？をシミュレーションし、遺伝には規則性があることを学びました。今回の授業では、2 種類の遺伝子がそれぞれ別の染色体上に存在するときに、その子供の遺伝子型や表現型がどれくらいの割合で存在するのか、色分けされたカードを用いて実際に確かめてみました。



班の中で役割分担をし、カードをランダムに選ぶ人、記録を取る人、集計する人、それぞれ真剣に取り組みました。当然、出てくる結果は頭の中で考えた時と同じようなきれいな数字ではありません。理想とのズレに頭を抱えながら、課題に取り掛かります。